

# 世界に平和を・戦争の基地はいらない



横田基地ミニ情報 2020.5.15 No.379 東京・羽村平和委員会発行

## 横田基地飛行回数 1万4千回 イラク戦争時上回る

福生市の調査によると、2019年度（2018年4月～2019年3月）の横田基地の飛行回数は、2001年度以降最多で、2003年度のイラク戦争時の12,754回を上回る14,089回でした。

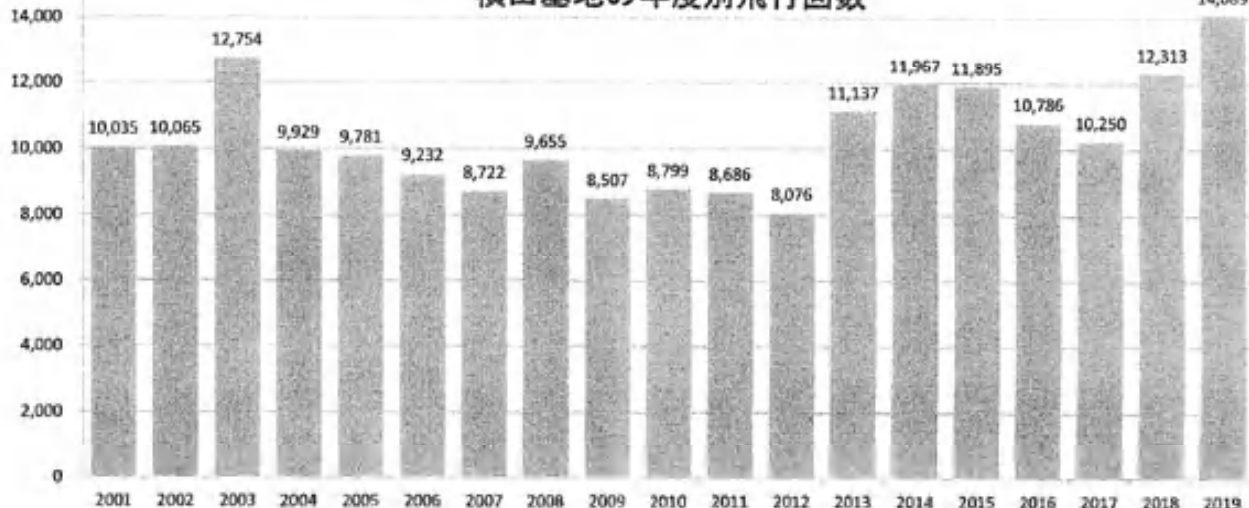
2013年度以降、1万回以上に増加したのは、米軍再編で米軍横田基地に航空自衛隊が設置され、司令部の日米一体化で軍事演習など機能強化されたことによります。

2018年度からの増加は、主に横田基地所属機14機の新型化で4機編隊飛行や飛行回数増加と、CVオスプレイ5機の配備によるものと考えられます。

2019年度の熊川測定地点での最高騒音は、毎月100デシベルを超え、最高は2019年2月の120デシベルでした。

騒音の被害とともに、墜落事故が懸念されます。横田基地は撤去を！

横田基地の年度別飛行回数



## 米空軍特殊作戦司令部 パラシュート降下訓練等を再開

米空軍特殊作戦司令部（AFSOC）は、2名の飛行士がダイビング及び山岳作戦で死亡した昨年12月以降、ジャンプ作戦を中止していました。横田基地でも毎年1月には、多人数でのパラシュート降下訓練が計画されるのですが、今年はこれまで実施されていません。

死亡したのは、パラシュート救出マンのピーター・クライン2等軍曹（写真左）と、戦闘コントロールのコール・コンディフ2等軍曹。両者は特殊作戦飛行隊に所属していました。



クライン（33歳）はアイダホ州ボイズの山岳救出技術実践中に負ったケガから、10月8日死去。コンディフ（29歳）はパラシュート事故後、11月にメキシコ湾で死去しました。

AFSOCは、2名の飛行士の死の再調査後、パラシュート、ダイビング及び山岳作戦を行うため、全隊に現在作戦を再保証をしています。

## 空母艦載機着陸訓練の実施と予備施設指定 横田基地も！

硫黄島で、5月14日（木）から6月10日（水）まで、FCLP（空母艦載機着陸訓練）が実施されます。訓練時間は11時から翌3時までです。訓練機種は、空母ロナルド・レーガン艦載固定翼機全機（FA-18E、FA-18F、EA-18G、E-2D、C-2A）です。

天候等の事情で硫黄島で訓練が実施できない場合の代替施設も指定されました。予備施設は、横田基地、三沢基地、厚木基地、岩国基地です。

訓練期間も長いし、最近の横田基地での激しい飛行訓練を見ていると、もしかして、なんだかんだ理由をつけて、横田基地でもFCLPが実施されるかもしれない、と心配しています。

# 横田基地 第一グループと第二グループでコロナ陽性が確認

横田基地 第374空輸航空団司令官 オーティス C ジョーンズ大佐から、4月28日22時48分、周辺自治体に、情報提供がありました。

内容は、横田基地には米海軍兵が二グループ滞在している。

第一のグループは、段階的移動制限計画の一環で、派遣前の隔離を受けている米海軍兵で、彼らはあてがわれた部屋以外への移動を制限され、基地の住民からは隔離されている。

第二のグループは、この作戦のサポートスタッフで、基地内で見かけた人もいます。

本日、移動制限を受けている第一グループのうち少数名の米海軍兵がCOVID-19に対して陽性であることが確認された。(中略)

更に重要な点は、陽性反応が確認された海軍兵達は、第二グループの支援スタッフ(海軍兵)や！我々基地関係者との接触が一切無いことだ。(後略)

5月7日夕刻、横田基地司令官から、第2の情報提供がありました。

内容は、サポートチームの中からも少人数がCOVIDに陽性である事が確認された。というもの。

横田基地には、二つのグループで、新型コロナウイルスの感染者がいることが明らかになったのです。しかし、その詳細は、不明です。

## 米軍の新型コロナウイルス感染

レーガンの乗員隔離後に陽性判定・人数非公表  
厚木、横田、岩国、横須賀で隔離 04/28 星条旗



サンディエゴの海兵隊新兵キャンプで  
新型コロナ数10人感染 04/28



## ひろがる

ルーズベルトの新型コロナ1150人に  
・再検査で陽性 04/30 星条旗



横田基地が公衆健康緊急事態宣言を  
6月30日まで延長 05/05 星条旗



5月11日、米軍の感染者は1万1000人、5000人が療養中・米国防総省(沖縄タイムス)、米軍関係者の8日時点の新型コロナウイルス感染者の総数が1万1009人に達したことが分かった。死者数は27人で、回復者数は3156人。米国防総省が8日、明らかにした。

8日時点で療養中(自主隔離なども含む)の感染者数は5053人で、最多は海軍の2141人、次いで陸軍1087人、州兵962人、空軍409人、海兵隊449人となっている。